

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 中国財務局長

【提出日】 平成26年1月14日

【四半期会計期間】 第9期第1四半期(自平成25年9月1日至平成25年11月30日)

【会社名】 株式会社ウエストホールディングス

【英訳名】 West Holdings Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役会長 吉川 隆

【本店の所在の場所】 広島県広島市西区楠木町一丁目15番24号

(上記は登記上の本店所在地であり、実際の業務は下記の場所で行っております。)

【電話番号】

【事務連絡者氏名】

【最寄りの連絡場所】 東京都新宿区西新宿三丁目20番2号

【電話番号】 (03)5358-5757(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員財務経理部長 椎葉 栄次

【縦覧に供する場所】 株式会社ウエストホールディングス 東京支店

(東京都新宿区西新宿三丁目20番2号)

株式会社ウエストホールディングス 大阪支店

(大阪府大阪市淀川区西中島七丁目1番5号)

株式会社東京証券取引所

(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次 会計期間	第8期 第1四半期 連結累計期間		第9期 第1四半期 連結累計期間		第8期	
	自 至	平成24年9月1日 平成24年11月30日	自 至	平成25年9月1日 平成25年11月30日	自 至	平成24年9月1日 平成25年8月31日
売上高 (千円)		10,353,611		11,671,770		52,745,556
経常利益 (千円)		1,326,162		1,139,135		5,872,181
四半期(当期)純利益 (千円)		630,191		600,967		3,123,535
四半期包括利益又は包括利益 (千円)		635,846		605,250		3,169,877
純資産額 (千円)		3,921,226		6,245,346		6,456,066
総資産額 (千円)		21,539,635		32,801,908		30,667,797
1株当たり四半期(当期)純利益 (円)		23.28		22.09		115.26
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益 (円)		23.08				114.78
自己資本比率 (%)		18.0		18.9		20.9

(注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。

2. 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3. 第9期第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4. 平成25年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。第8期の期首に当該株式分割が行われたと仮定し、1株当たり四半期(当期)純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益を算定しております。

2 【事業の内容】

当第1四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

なお、連結子会社である株式会社ハウスクエアは、平成25年12月1日付で「株式会社ウエストビギン」へ商号変更しております。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第1四半期連結累計期間において、当四半期報告書に記載した事業の状況、経理の状況等に関する事項のうち、投資者の判断に重要な影響を及ぼす可能性のある事項の発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した「事業等のリスク」についての重要な変更はありません。

なお、重要事象等は存在していません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第1四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、現政権下での経済政策や金融緩和政策の進捗を背景に、輸出の回復や個人消費の持ち直しなど緩やかな景気回復の兆しが見られました。また、円安・株高による景況感も好転しつつありますが、海外経済の下振れ懸念や消費税率の引き上げ決定、雇用環境の改善が進まないことなどにより、国内景気の先行きには不透明感が残されております。

このような状況の中、当社グループは、「再生可能エネルギーの全量買取制度」及び「環境関連投資促進税制」等、再生可能エネルギー推進のための積極的な政府施策の影響を受け、住宅分野からメガソーラー発電所（大規模太陽光発電所）等の産業用分野までの太陽光発電システム需要が幅広く拡大する中で、経営資源を一層集中し、幅広い顧客層に向けて材料調達・施工・販売など広範囲に事業を展開いたしました。

また、従来から行っている住宅用太陽光発電システムのアフターサービス・メンテナンス業務に加え、市場が急速に拡大しているメガソーラー及び産業用太陽光発電システムのO&M（オペレーションアンドメンテナンス）事業も積極的に推進してまいりました。

この結果、当第1四半期連結累計期間における当社グループの売上高は116億71百万円（前年同四半期比12.7%増）、営業利益を12億18百万円（前年同四半期比8.7%減）、経常利益を11億39百万円（前年同四半期比14.1%減）計上し、四半期純利益を6億円（前年同四半期比4.6%減）計上いたしました。

セグメント別の業績は次のとおりであります。

グリーンエネルギー事業

メガソーラーを含む産業用の太陽光発電システムの需要は好調に推移しましたが、前年同期間からの大幅な円安進行を主因として材料価格が上昇したため、利益率が減少いたしました。

以上の結果、売上高は115億12百万円（前年同四半期比19.9%増）、営業利益は14億62百万円（前年同四半期比6.8%増）となりました。

エコリフォーム事業

エコリフォーム事業については、従来からの計画に従い人材を一層成長分野であるグリーンエネルギー事業に集中したために売上高が減少しております。

以上の結果、売上高は1億55百万円（前年同四半期比79.3%減）、営業利益は8百万円（前年同四半期比92.4%減）となりました。

その他の事業

その他事業の売上高は3百万円（前年同四半期比31.8%減）、営業利益は49万円（前年同四半期比96.4%増）となりました。

(2) 財政状態の分析

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ、21億34百万円増加し、328億1百万円となりました。また、負債につきましては、前連結会計年度末比23億44百万円増加し、265億56百万円、純資産につきましては、前連結会計年度末比2億10百万円減少し62億45百万円となりました。主な内容は以下のとおりであります。

資産の増加の主な要因は、商品の増加22億72百万円によるものであります。

負債の増加の主な要因は、借入金及び社債が34億23百万円増加、未成工事受入金及び前受金7億69百万円増加、未払法人税等の支払による減少18億76百万円によるものであります。

純資産の減少は、四半期純利益を6億円計上した一方、配当金の支払8億16百万円によるものであります。

(3) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第1四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(4) 研究開発活動

特に記載すべき事項はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	108,800,000
計	108,800,000

【発行済株式】

種類	第1四半期会計期間 末現在発行数(株) (平成25年11月30日)	提出日現在 発行数(株) (平成26年1月14日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	27,235,200	27,235,200	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数は100株で あります。
計	27,235,200	27,235,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月1日 (注)1	13,610,250	27,220,500		2,020,626		603,014
平成25年9月1日～ 平成25年11月30日 (注)2	14,700	27,235,200	291	2,020,918	291	603,305

(注)1 平成25年8月31日の株主名簿に記録された株主に対し、所有株式数を1株につき2株の割合をもって分割いたしました。

2 発行済株式総数の増加及び資本金の増加並びに資本準備金の増加は、新株予約権の行使による増加ではありません。

(6) 【大株主の状況】

当四半期会計期間は第1四半期会計期間であるため、記載事項はありません。

(7) 【議決権の状況】

当第1四半期会計期間末日現在の「議決権の状況」につきましては、株主名簿の記載内容が確認できないため、記載することができませんので、直前の基準日である平成25年8月31日の株主名簿により記載しております。なお、平成25年9月1日を効力発生日として普通株式1株につき普通株式2株の株式分割を行っておりますが、当該株式分割の影響は考慮していません。

【発行済株式】

平成25年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 8,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 13,560,500	135,605	
単元未満株式	普通株式 41,750		
発行済株式総数	13,610,250		
総株主の議決権		135,605	

【自己株式等】

平成25年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ウエストホール ディングス	広島県広島市西区楠木町 一丁目15番24号	8,000		8,000	0.06
計		8,000		8,000	0.06

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第1四半期連結会計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)及び第1四半期連結累計期間(平成25年9月1日から平成25年11月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、九段監査法人による四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,695,796	12,306,711
受取手形及び売掛金	¹ 1,067,921	¹ 2,511,309
完成工事未収入金	9,217,529	6,576,214
商品	2,404,897	4,677,607
販売用不動産	131,516	176,516
未成工事支出金	1,818,198	1,792,515
原材料及び貯蔵品	110,638	163,837
繰延税金資産	313,179	215,127
その他	1,157,720	1,596,816
貸倒引当金	150,998	204,568
流動資産合計	27,766,401	29,812,088
固定資産		
有形固定資産	1,350,036	1,285,534
無形固定資産		
のれん	36,043	18,021
その他	105,400	103,375
無形固定資産合計	141,443	121,397
投資その他の資産		
投資有価証券	786,393	890,764
長期貸付金	137,910	136,501
繰延税金資産	20,000	30,616
その他	662,418	736,145
貸倒引当金	196,807	211,140
投資その他の資産合計	1,409,915	1,582,888
固定資産合計	2,901,395	2,989,820
資産合計	30,667,797	32,801,908

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,841,456	6,069,972
工事未払金	2,160,024	1,697,376
1年内償還予定の社債	177,000	171,000
短期借入金	6,077,041	8,648,858
未払法人税等	2,191,718	315,701
賞与引当金	33,920	80,900
役員賞与引当金	25,000	-
資産除去債務	1,711	-
その他	2,975,597	3,982,245
流動負債合計	19,483,468	20,966,053
固定負債		
社債	157,500	112,500
長期借入金	4,435,233	5,337,751
資産除去債務	24,316	24,399
繰延税金負債	4,062	-
その他	107,149	115,858
固定負債合計	4,728,262	5,590,508
負債合計	24,211,730	26,556,562
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,020,626	2,020,918
資本剰余金	727,854	728,146
利益剰余金	3,683,182	3,468,020
自己株式	10,765	10,765
株主資本合計	6,420,898	6,206,318
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,200	923
その他の包括利益累計額合計	4,200	923
新株予約権	423	-
少数株主持分	38,945	39,950
純資産合計	6,456,066	6,245,346
負債純資産合計	30,667,797	32,801,908

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】
【四半期連結損益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
売上高	10,353,611	11,671,770
売上原価	7,260,663	8,339,955
売上総利益	3,092,948	3,331,814
販売費及び一般管理費	1,758,530	2,113,334
営業利益	1,334,417	1,218,480
営業外収益		
受取利息	747	6,057
貸倒引当金戻入額	6,374	-
受取手数料	46,635	12,759
その他	7,557	3,529
営業外収益合計	61,314	22,346
営業外費用		
支払利息	37,704	49,125
貸倒引当金繰入額	-	13,553
持分法による投資損失	3,113	8,745
為替差損	10,636	13,128
シンジケートローン手数料	17,020	14,882
その他	1,094	2,256
営業外費用合計	69,569	101,691
経常利益	1,326,162	1,139,135
特別利益		
新株予約権戻入益	-	370
特別利益合計	-	370
特別損失		
固定資産売却損	140,377	-
特別損失合計	140,377	-
税金等調整前四半期純利益	1,185,785	1,139,505
法人税、住民税及び事業税	454,658	456,071
法人税等調整額	101,943	81,461
法人税等合計	556,602	537,532
少数株主損益調整前四半期純利益	629,183	601,973
少数株主利益又は少数株主損失()	1,008	1,005
四半期純利益	630,191	600,967

【四半期連結包括利益計算書】
【第1四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	629,183	601,973
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	6,663	3,277
その他の包括利益合計	6,663	3,277
四半期包括利益	635,846	605,250
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	636,854	604,245
少数株主に係る四半期包括利益	1,008	1,005

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日至平成25年11月30日)	
(1) 連結の範囲の重要な変更	第1ウエストグループ合同会社については、匿名組合契約事業が開始され同社の損益が匿名組合出資者に帰属することが見込まれることから、当第1四半期連結会計期間より、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」第5条第1項第2号の規定に基づいて連結の範囲から除外しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

- 1 四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しておりません。

なお、当第1四半期連結会計期間末日が金融機関の休日であったため、次の四半期連結会計期間末日満期手形が、四半期連結会計期間末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年8月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成25年11月30日)
受取手形	62,745千円	79,440千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費(のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。)及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
減価償却費	31,209千円	30,207千円
のれんの償却額	51,456千円	17,953千円

(株主資本等関係)

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年11月27日 定時株主総会	普通株式	405,965	30.00	平成24年8月31日	平成24年11月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年11月26日 定時株主総会	普通株式	816,130	60.00	平成25年8月31日	平成25年11月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第1四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第1四半期連結会計期間の末日後となるもの

該当事項はありません。

3. 株主資本の著しい変動

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自 平成24年9月1日 至 平成24年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	グリーンエネ ルギー事業	エコリフォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,599,365	749,218	10,348,583	5,028	10,353,611		10,353,611
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	9,599,365	749,218	10,348,583	5,028	10,353,611		10,353,611
セグメント利益	1,369,290	116,856	1,486,146	251	1,486,398	151,980	1,334,417

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建材業者への材料販売等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 151,980千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社グループ管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

当第1四半期連結累計期間(自 平成25年9月1日 至 平成25年11月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	グリーンエネ ルギー事業	エコリフォーム 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	11,512,913	155,428	11,668,341	3,428	11,671,770		11,671,770
セグメント間の内部 売上高又は振替高							
計	11,512,913	155,428	11,668,341	3,428	11,671,770		11,671,770
セグメント利益	1,462,478	8,924	1,471,403	493	1,471,896	253,416	1,218,480

- (注) 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、賃貸収入等を含んでおります。
2. セグメント利益の調整額 253,416千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に当社グループ管理部門に係る費用であります。
3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第1四半期連結累計期間 (自平成24年9月1日 至平成24年11月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成25年11月30日)
(1) 1株当たり四半期純利益	23円28銭	22円09銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	630,191	600,967
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	630,191	600,967
普通株式の期中平均株式数(千株)	27,064	27,209
(2) 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	23円08銭	
(算定上の基礎)		
四半期純利益調整額(千円)		
普通株式増加数(株)	243	
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額の算定に含めなかった潜在株式で、前連結会計年度末から重要な変動があったものの概要		

- (注) 1 当社は、平成25年9月1日付けで普通株式1株につき普通株式2株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して1株当たり四半期純利益及び潜在株式調整後1株当たり四半期純利益を算定しております。
- 2 当第1四半期連結累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成26年 1月14日

株式会社ウエストホールディングス

取締役会 御中

九段監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 大 網 英 道 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 杉 山 一 雄 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ウエストホールディングスの平成25年9月1日から平成26年8月31日までの連結会計年度の第1四半期連結会計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）及び第1四半期連結累計期間（平成25年9月1日から平成25年11月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ウエストホールディングス及び連結子会社の平成25年11月30日現在の財政状態及び同日をもって終了する第1四半期連結累計期間の経営成績を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。
以上

- (注) 1. 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
2. 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。